

FCS 中学生コース 通常授業【30年シーズンv1.0】 要項一覧

※中学内容（高校受験）を毎週1回、月計4回授業。

※一講座（一科目）から受講可。

※形式は予習塾（中学内容の速習）で少人数集団授業（大学院のゼミ形式）。試験前は復習。学年はなく（小学生の参加も妨げません）、生徒が学びたいだけ、先に解き進める画期的な講座。

※英語は指導要領改訂に伴い、四技能英語対応のSコース（教材はプログレスです。国語力があれば小学生も参加可）。

※数学は学校で配布された「Aクラス（久留米附設）」「高校への数学（久留米附設）」「体系数学（大濠・早稲田佐賀）」をそのまま使用。だから無駄がありません（公立中・付属中組はウィニングプラス）。中高一貫生は中2二月から高校数学予習講座→高校数学Rコースに昇格します。

※理科は8力年分の入試問題（公立・久留米附設）をベースに教えるJコース理科と中高ボーダレスのRコース物理、Rコース化学が開講。

S（小・中学生）コース 英語

■Sコース英語要項（教材にプログレス使用！）
開催日●日曜日17:30～18:50（初級）
19:00～20:20（中級）
20:30～21:50（上級）

会場●FCS藤崎本館（早良区役所正面）

■主宰者からのメッセージ「Sコースの英語とは」
大学入試改革に即応した英語講座の決定版

S英語はプログレスに精通した先生に登壇頂いています。久留米附設中学、福岡雙葉中学の英語進度も理解し、四半世紀近いキャリアを誇る先生が指導します。

一流海外大学留学指導にも通じ、文部科学省が目指す、グローバル英語（聞く、読む、話す、書くの4技能統合型言語活動）が身につく最新英語講座です。

■中高ギャップの解消、BOOK3＝センターレベルだから久留米附設1位（中2）、西南学院1位（中2）！

久留米大附設の生徒が圧倒的な合格実績を誇る秘密は？入試問題を見て頂ければ一目瞭然です。公立高校、市内の私立高校は限られた単語でしか問題は作られてませんが、附設は大学入試センター並の語彙、英語のスキルを求めています。本講座はプログレスを教材に使う事で、中学英語の枠にとらわれず、経済界が求める英語力を中学生に身につけさせる講座です。

Jコース 数学

■Jコース数学要項

◆学年に関係なく中学数学を速習できる画期的講座

Rコースに転塾して来た修猷館高校1年生が「これ去年習いました。でも『そうなるから』で、どうしてそうなるかを今日初めて知りました」と答えました。

多くの塾、塾教材は未だ新課程数学に対応できてないのでしょう。脱ゆとり教育で中学数学と高校数学の境界は小さくなりました（幾何・データ・整数・確率）。

FCSは元々修猷館高校等現役高校生対象の予習塾です。だから、高校数学に全対応できる講師陣が標準。その彼らが中学数学を教えています。

FCSの特長は「学年のない」指導です（中1でも中2、3、高校の数学が学べます）。全国の「速習」塾の先駆けにもなっています（塾関係者、学校関係者からの問い合わせ、視察もあり、類似する塾が全国にできています）。

ただ「FCSのやり方を導入したら、子ども達は面白いように先取りができる。でも、そのあとが心配だ。『速習』が終わった後は（我々は）どうしよう？」

福岡にも「速習」を行う塾があるようですが続きません。それは先の証言のように「技量（人材）不足」です。

修猷、附設生に教える事ができる先生（スキルの高い人材）を使って、中学数学を「速習」してみませんか？

会場●FCS藤崎本館／詳細●時間割他、HPへ

◆復習を希望する方は定期考査前に行います。久留米附設中生が購読する「高校への数学」にも対応。

◆小学生の参加可。◆難関私立高校受験対応。

Jコース 国語

■Jコース国語要項

◆『生徒それぞれの“個”を尊重し、客観的且つ論理的に文を分析する力を育てる』

指導は、まず20分程度の高校入試レベルの漢字テストから始まります。その後、長文演習と解説の授業を行います。授業は生徒さん各自のペースを大事にしつつ、必要に応じて、タイミングを見計らいながら解説を施すという形で進められます。

長文指導の目標は、自分のフィーリングに頼らず、根拠に基づいて解答できるよう、客観的に文章を読むことができる力を養成することです。記載された一語一語を大事にして、自分の思いを勝手に入れず、論理的に分析する能力を育てていきたいと思っています。

また、高校入試の対策も兼ねて作文練成も行っています。単に字数を埋めるだけの点取り作文ではなく、内容の濃い文章を書けるようになることも目標に掲げています。教室の雰囲気は大変穏やかです。学校で解からなかったことも含め、気軽に質問・相談できる空気を作っています。

国語の問題に対する解釈は、確かに人さまざまかもしれませんが、解答が解答であるための根拠は必ずあるものです。その根拠をどのように探したらいいのかということも含め、時には討論になることもあります。答を答として押し付けても力は向上しません。生徒の意見は意見として一旦は受け入れ、その後、自分の解答が本線から脱落していることを、気付いてもらえるような指導を目指して努力しています。

会場●FCS藤崎本館／日時●毎週水曜日20:10～

Jコース理科 Rコース物理・化学

■Jコース理科要項

●毎週土曜日18:20～

●FCS藤崎本館（早良区役所正面）

●1月は国立や私立高校の入試問題の中で比較的易～標準の問題を解かせ→解説を繰り返します。

■Rコース化学・Rコース物理要項

●毎週金曜日19:10～／20:40～

●FCS藤崎本館（早良区役所正面）

■要項

●二つのコースの違い

Jコースは過去8年分の公立（福岡県）入試問題（+適宜附設入試問題）をベースにテーマ毎に授業するコース、Rコースは物理もしくは化学を学ぶコースです。

よって、公立入試を最終目標にするならばJコース。公立入試にこだわらない（中高一貫・超難関私立高校受験）ならRコースと言った方が分かりやすいでしょう。

●どこの塾も同じ事をやっているから・・・

これまで、公立入試で高得点を取るためには塾教材を「やる」事が近道だとJ理科（塾）の役割を説明してきました。塾教材（塾というシステム）がまさに60/60点を取るための人知を駆使した「攻略本」だからです。

●待望！攻略法を編み出せる人間を創る講座

すると・・・「うちの子をその攻略法を編み出せる子になる授業をしてくれませんか」と問い合わせがありました（我々が昔やっていた事を知っている？）。

そこで、公立入試8年分の問題を単元毎に分解。単元毎の講話→書き取り→授業後にノートまとめ。次回授業前半に前回の講話の完全記述試験（生徒が単元を記述表現できるようにする）→講評。後日、入試問題を解かせる。

普通の塾では最後のサイクルだけをやっていて、スキルの高い先生であればそこで理科の現象やしくみの説明ができます（楽しい授業）。

この講座ではそのスキル部分を前面に出し、生徒にまとめさせる、という福岡では類の見られない講座です（数学のような計算練習が伴う物理、化学分野はまとめて留まらず錬成をさせます）。

●理科にはものごとを整理まとめる要素が満載

ところで、公立入試（+久留米附設入試問題）をゴールに理科をゼロから教える事が出来る（語れる）先生は福岡には皆無です（大手は教材を流すだけだし、数少ない個人塾の塾長もだいたい文系出身で理科は専門外）。

よって、この船（講座）は福岡のどこの塾にも見ない革新的な講座になるでしょう（首都圏にはゼロから探求できる講座がありますが・・・）。

尚、高校受験がない中学生はRコース物理、化学を履修する事をお勧めします（中学受験の理科の入試問題と公立高校入試のそれを見比べて下さい。全く同じか、それ以上の内容である事に気づかれるでしょう。灘中学校、久留米附設中学校では理科～化学は「モル」で習うのです）。

Jコース 社会

■Jコース社会要項

●毎週水曜日19:00～

●1月は、江戸時代までの歴史をもう1度おさらいします。明治時代に入る前に、江戸時代までの重要なテーマを復習します。学校の進度に応じて、世界地理や公民も行います。

●主宰者推薦図書／岩波新書／日本の歴史〈上〉〈中〉井上清著

●FCS藤崎本館（早良区役所正面）

■自ら情報を発信する全く新しい社会の授業

「成功する人としない人、その違いは何でしょう」

人生において成功する人は共通してあるものを持っています。それは「発信すること」です。

自分の計画、思いを上手く発信することはこれから先とても重要視されます。

そこでFCS中学社会の講座では学習したことを作文用紙にまとめる事を月に1度行います（ほぼ単元毎）。

■「答練」意識した「プロ生徒育成」

地理、歴史、公民すべてにおいて社会は普通の塾ではひたすら覚えることが多いです。

確かに覚えることは、受験において人生においても大切なことではありますが、より効率的に楽にこなすチカラも大事です。

理解をし「なるほど!」と知識の点と点を結ぶことができれば、楽にたくさん覚えることができます。

FCSでは、生徒自らが理解をし、人に社会を語ることのできるような授業を目指します。もちろん、暗記は欠かせないものであるため、記憶を定着させるにはインプットしたものをアウトプットすることが重要です。よって、覚えたことは問題を解くことでアウトプットしましょう。

■なぜ？に興味を持つ子、理由を追い求める子を募集

先日、中部地方の地理の授業をしました。

子ども達は山陽地方山陰地方の2区分に分けて呼ぶものの他に、四国地方を合わせて気候区分として山陰地方、瀬戸内地方、南四国地方の3区分に分けて呼称するものがごっちゃになって混乱していました。

まとめる事への経験値がある子なら、それぞれの気候区分、風向や地形を重ねて考え、そして名前の漢字を照らし合わせる事で、暗記する以前に自ずと頭に入りますが、まだ、素養が育まれていない子だと、いくら勉強しても情報をまとめる事ができません（そのまま成人し、自分の考えを文字に起こす事ができない大人になって行くのです。勿論、点数も取れません）。

地理でたとえるなら、地形発生の理由、名前の由来などに興味を持つような「地理」「歴史」「公民」で理由を追い求める子の参加を歓迎します。



高校数学講座

数ⅠA予習コース・数ⅡB予習コース・数学演習コース

開催日●木・土（予習）日朝・月・火・土（演習）会場●FCS藤崎本館・ももちパレス

予習コースでは高校で使われている教材を使い、高校の授業の予習の説明→演習を繰り返して行きます。

数ⅠA予習コースは高校1年生・中高一貫中学3年生、数ⅡB予習コースは高校2年生・中高一貫高校1年生が対象ですが、緩やかなグループレッスン形態を取っているので前者が入会1年目、後者が2年目のグループで後者の理系の会員（修猷高2）は数Ⅲまで進んでいます。

3年目のグループや1、2年目のグループで演習を積み増したい会員が演習コースで数学の考究を続けています。

途中で入会する子、転塾してきた子は、体験を通して、そのいずれかのグループに入っていく事になります。

・多くの疑問「塾・予備校」では「革命」

予備校や大手学習塾は一つの授業ラインがあり、生徒がそのラインに乗る事を強要されます。

FCSはラインは複数ありますが、先生の数、教室の数がその分必要となり、回らなくなるのでは（塾が私立中対象としたくない本当の理由）との疑問を保護者、全国の塾・学校関係者から尋ねられました。

キーワードは「予習」。学校の復習をメインにすればラインは複数必要です。しかし「予習」すれば収斂します。

ただ、学校で習った上で生徒に教える「塾・予備校」界ではこれは「革命」です。技量のない先生がこれを行うと生徒は激減し、どんなに看板が大きくともクラスは消滅します。

高校化学講座

開催日●毎週金曜日19:10～／20:40～（だいたい90分）

会場●FCS藤崎本館

内容●大学入試における化学は細かい単元がたくさんありますが、大きく分けて理論・無機・有機の3つに分けられます。

この内無機・有機はどうしても覚える内容が多く、覚えれば覚えるだけ得点力に直結するような分野です。

一方理論化学は化学全般の土台となる分野で、理解がとても大切です。実際、出題の比率も高く、センター試験の半分以上は理論化学分野から出題されています。

理論化学さえしっかり押さえておけば、後は暗記量に比例して点数は伸びていくため、まずは理論化学をしっかり身につけていくことが大事です。

もちろん理論化学を特に手厚くケアしていくことを考えています。

授業は説明や整理を行った後で、問題演習を行う形式をとります。問題を解く時に理論をどのように活用するかが大切なので、ただ解くだけでなく「何を問われているのか」「どのように問題文を整理して知識と結びつけるか」などの解答の根拠などを示し、幅広い問題に対応出来る力を付けます。無機・有機については、表で整理したり、まとめて覚えると覚えやすいものなどを示した上で、とにかく反復して知識の定着を図ります。

物理と同様、全ての範囲が終わった生徒は受験生枠を別に設け、実際の過去問や受験対策用の問題演習を繰り返すことで実力をつけます。

授業で躓いた生徒、今後化学が必要になるため予習しておきたい生徒など誰でも歓迎します。

説明は理論化学のはじめから、0から学ぶという前提で進めていきますので、全ての生徒に新しい気持ちで取り組んで貰います。

「復習」は？適切な予習を行えば、質問が減るので、復習の必要がなくなります。試験前は他教科に時間を充てるようになるほどです（復習、学校の課題の消化を希望される会員は日曜日13時から17時に開催される「先生つき自習室（会員無料）」で解消できます）。

・この船に乗り遅れた人はどうするの？

あなたが予習を行っている限り、落ちこぼれるという概念はこの教室にはありません。

しかし、この教室に通う機会を逸し「炎上中」の生徒はどうすればいいでしょうか？

炎上した船を修復しながら、目的の港に向かわせるのは（それも他の船と競争しながら）極めて困難です（近くの港なら到達できますが）。

過去炎上し、足が遅くなった船を修復した経験が教える事は「人の二倍、三倍努力した」至極当たり前の事実でした

幸い、FCSは予習二コース、演習コースの掛け持ち参加は妨げません（受講料の追加徴収はしてません!）

しかし、不思議な事に会員なら誰でも使えるこの制度を活かせるのは一握りの「夢を実現する執念に満ちあふれる人」だけです（「タダ」だと人は使いません。You Tubeも）。

付属中→修猷館→東京大学に現役進学した卒業生は一ヶ月に16回出席した月もありました（+You Tubeも利用）。

「夢のある子」の参加をお待ちしています。叶えましょう

高校物理講座

開催日●毎週金曜日19:10～／20:40～（だいたい90分）

会場●FCS藤崎本館

内容●物理大学入試における物理の分野には力学・電磁気・波動・熱・原子があります。

中でも力学と電磁気の2分野は必ずどこの大学でも出題されており、この2分野をしっかり身に付けることは重要です。さらに言えば、物理の初めに習う力学は、数学における式と計算のようなもので、物理全体の基礎となる部分であり、もっとも重要な分野です。

“物理が嫌い”というほとんどの人はこの力学でつまづいています。

物理の問題は当然ながら、公式や物理法則を適用しなければ解けません。しかし、公式はただ暗記しても、現象を正しく理解していなければ、それを適用することすらできません。

そこで授業は始めに説明を行い、理解をしてもらった上で、その理解を助け、覚えるべき事を「使える」形で覚えるために、最適な問題で演習を行う形式をとります。

理解した現象を問題へと結びつけていく方法を示しながら、実際に行う問題演習ではそれぞれの生徒に助言を与えつつも自力で解かせる時間をとります。

また、全ての範囲が終わった生徒は受験生枠を別に設け、実際の過去問や受験対策用の問題演習を繰り返すことで実力をつけます。

授業で躓いた生徒、今後物理が必要になるため為予習しておきたい生徒など誰でも歓迎します。

説明は力学のはじめから、0から学ぶという前提で進めていきますので、全ての生徒に新しい気持ちで取り組んで貰います。

FCS冬期講習会プログラム目録 v2.1

お申し込みは 092(845)9981／fcs9981@gmail.com

※本用紙時間割内の「講座」のところに丸をつけて提出してください

◆期間

12/23(土)～1/8(月)、#が末尾についている分が訂正、変更、追加分です

※12月の通常授業は12/23(土)まで。1月の通常授業は1/4(木)から。Sコース英語は台風通常授業休講分の代講を12/24(日)開催。

| | 朝 8:30～12:30 | 13:30～17:30 | 18:00～22:00 |
|----------|---------------|------------------|-----------------------|
| 12/23(土) | 高校化学(理論) | 中学理科(物理)# | (通常授業) |
| 12/24(日) | 高校化学(無機) | | (Sコース英語・台風代講分) |
| 12/25(月) | | | |
| 12/26(火) | | | |
| 12/27(水) | 中学数学(確率・場合の数) | | |
| 12/28(木) | 中学数学(整数) | 中学理科(生物) | 数学勉強会※無料／入塾体験を兼ねる |
| 12/29(金) | | | 高校化学(有機) |
| 12/30(土) | 中学数学(方程式) | 中学数学(平面図形) | |
| 12/31(日) | | | |
| 元旦 | | | 高校数学(幾何)※無料／入塾体験を兼ねる# |
| | | | 高校数学(確率)※無料／入塾体験を兼ねる# |
| 1/2(火) | | | 数学勉強会※無料／入塾体験を兼ねる# |
| 1/3(水) | 中学数学(立体図形) | 高校物理(熱力学) | |
| | | 中学理科(地学) | |
| 1/4(木) | 高校物理(力学) | 高校数学(三角・指数・対数関数) | (通常授業) |
| | | 高校数学(数Ⅲ微積) | |
| 1/5(金) | | 高校数学(図形と方程式) | (通常授業) |
| | | 高校数学(複素平面) | |
| 1/6(土) | 高校物理(電気) | 高校物理(波動) | (通常授業) |
| 1/7(日) | (通常授業) | (通常授業) | (通常授業) |
| 1/8(月) | | 中学理科(化学) | (通常授業) |

◆費用

1コマ3,510円

※やむを得ないご事情を除き、基本にご返金措置は行いません。尚、本コースは体験はありません。

◆申し込み方法

まづ、電話、もしくは、メールにてお受けつけ致します。

※受講料納入方法は当塾指定の振込み口座にお振込みをお願い致します（会員は受講後、2月分受講料にて追加請求清算致します。自動引落とし手続きをされてある方は振込手数料は必要ありません）。

↓

次に、受講する講座の先生と打ち合わせをします。その日程をメールもしくは電話にて決めます。フライヤー兼問診票を事前に提出（持参、もしくは、メール）いただくと打ち合わせが円滑に進みます。

↓

打ち合わせ当日、先生、生徒間で直接講習会で具体的に何をするかをつめていきます。保護者の方の参加は妨げません。

↓

当日受講していただきます。

◆定員

申し込み方法を読まれてご察しになられたかと存じますが、かなり手の込んだ講習を行なっています。夏期講習では附設志望者、ラサール中高の予習など、かなり難しい仕事を先生は行いました。どのような生徒が受講するかによりますが、定員は先生の指導許容の範囲とし、先着順とさせていただきます。尚、会員、過去講習会参加者を優先させていただきますので、外部、新規の方の申し込みは11/16（木）からにさせていただきます（よって11/16以降、会員、過去講習会参加者で参加できない講座も発生するかもしれません。何卒ご了承ください）。

| 申し込み用紙 | | |
|---|-----|------------------------|
| 名前 | 学校名 | 学年 |
| 問診（受講講座毎に記載。全く初めての単元か？習っているならどの辺りまで学んだか。教材を持っているか？講座に対する要望他をお書きください。裏面も利用可） | | |
| 受講打ち合わせ希望日（候補を二日以上記載。講座毎） | | あなたの連絡先（メールアドレスもしくは電話） |